

覚えてください！要約筆記 全国標準略号・略語

要約筆記では話に追いつく工夫として略号・略語を取り決めています。

◇略号

難聴 … ㊦	健聴 … ㊧	聴覚 … ㊨
障害 … ㊩	福祉 … ㊪	要約筆記 … ㊫
補聴器 … ㊬	手話 … ㊭	ろうあ … ㊮
ファックス … ㊯		

◇略語

中途失聴 … 中失	コミュニケーション … コミ
ヒアリンググループ … ループ	ボランティア … ボラ

◇組み合わせて使うもの

聴覚障害 … ㊩㊫

聴覚障害者、中途失聴者、難聴者、要約筆記者、ろうあ者などは略号・略語に「者」をつける。

例：難聴者 → ㊩㊫者 中途失聴者 → 中失者

◇略称例

社会福祉協議会 → 社協

兵庫県難聴者福祉協会 → 県難聴、県㊩

兵庫県要約筆記サークル連絡協議会 → 県要連、県㊫

<耳マーク>



◇耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマークです。聞こえない人々の存在と立場を社会一般に認知してもらい、コミュニケーションの配慮などの理解を求めていくためのものでもあります。

○要約筆記に関するご意見やご要望は、下記までお寄せください。

【お問い合わせ先】

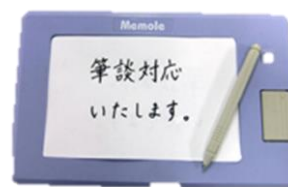
兵庫県要約筆記サークル連絡協議会

〒657-0832 神戸市灘区岸地通1丁目1-1 灘区民ホール2階

兵庫県立聴覚障害者情報センター内

FAX 078-805-4192

要約筆記は 聴覚障害者への コミュニケーション支援



兵庫県要約筆記サークル連絡協議会（県要連）は兵庫県下の聴覚障害者とともに歩み、聴覚障害者の社会参加と社会生活の向上に寄与し、要約筆記に関わる者の交流親睦を図ることを目的としています。

兵庫県要約筆記サークル連絡協議会

◆ ◆ ◆ 兵庫県要約筆記サークル連絡協議会について ◆ ◆ ◆

【概要】

兵庫県要約筆記サークル連絡協議会（県要連）は、県下の要約筆記サークルの連絡体として、1988年（S63）6月に設立されました。

「聞こえのバリアフリー社会」をめざして活動を続け、現在23サークルが加盟し、会員数は335名です。（2018年4月現在）

各地域のサークルでは、聴覚障害者の方々との交流、難聴や要約筆記の啓発活動、社会参加の支援に取り組んでいます。

【要約筆記とは】

話されていることを聞きつかみ、内容を要約して文字にして伝えるものです。聞こえていれば当然のように参加できるはずのその場のコミュニケーションに加われない、自分の意思で行動を決めたいと望んでも、時機を逸してしまう…、こうした状況の中に聴覚障害者は置かれています。

話の内容を知り、考え、判断し、行動するという当たり前の権利が要約筆記によって保障されることになります。

【要約筆記の方法】

要約筆記はその場面や利用者の状況によっていろいろな方法があります。

手書きによるものとパソコンのキーボード入力によるものがあります。

◆講演会や会議など利用者が多数の場合は、スクリーンに文字を映します。

◆病院の受診、授業参観、各種講座や会議など利用者が少人数の場合は、利用者のすぐ横で書いたり、利用者の前に置いたパソコンを見ていただく、ノートテイクという方法で行ないます。

..... ◆ ◆ ◆



＜手書き要約筆記＞



＜パソコン要約筆記＞



＜ノートテイク＞
手書きとパソコンの方法があります

【主な活動】

1. 役員会・理事会

全体理事会のほかに、各地域ブロックで理事を中心としたブロック会議を開催。地域サークル間の連携を深めます。また、ブロック毎に交流学習会も開催します。県内には「阪神南」「阪神北」「北播・但馬・丹波」「東播・西播」の4ブロックがあります。

2. 専門部

(1) 研修部…研修会、学習会の開催

- ・手書き部門「ひょうご手書きの会」
- ・パソコン部門「PC要約筆記ひょうご」

(2) 交流・支援部

(3) 広報部

- ・県要連ニュース発行

3. 関係団体との連携

(1) (特) 兵庫県難聴者福祉協会（県難聴）と連携し活動

- ・県難聴各種行事への参加及び協力
- ・事業の運営に参画 など

(2) 兵庫県立聴覚障害者情報センター事業に協力

(3) その他行政や関係団体との連携（ひょうご聴障ネット 他）

..... ◆ ◆ ◆

2006年（H18）第6回全国障害者スポーツ大会（のじぎく兵庫大会）では、情報支援ボランティアとして活動しました。2011年から開催されている神戸マラソンでも、全国から参加する聴覚障害のあるランナーの情報支援に協力しています。

